

平成21年度鹿児島大学歯学部公開講座

雑誌名	鹿児島大学歯学部紀要
巻	30
ページ	55-56
発行年	2010
URL	http://hdl.handle.net/10232/17032

平成21年 度鹿児島大学歯学部公開講座

講座名：「歯科臨床におけるインфекションコントロールのレベルアップ」

開催日時：平成21年11月29日（日曜日）13:00～17:30

場所：鹿児島県歯科医師会館 5階大ホール

共催：鹿児島県歯科医師会

講座の開設趣旨・目的

口腔は人体において細菌やウイルスなどの病原体に最初に曝される最も主要な門戸であります。近年、急速に進行する超高齢化社会において、口腔の衛生管理や誤嚥性肺炎とQOLとの関連が取り上げられており、口腔感染症の予防の知識と技術は現代歯科医療の必須アイテムとなりつつあります。そこで、今回は、一般の方はもとより、歯科臨床における感染予防対策ならびに口腔ケアの実践テクニックを歯科医ならびに歯科衛生士の皆さんに理解していただくための講座を企画しました。

受講対象者：歯科医師、歯科衛生士、看護師、介護士、医療系学生、一般市民

参加費：歯科医師 3,000円、歯科衛生士 1,000円、学生・一般 無料

プログラム

13:00 開校式	司会・進行	中村 典史 教授
鹿児島県歯科医師会副会長挨拶		門松 秀久 副会長
鹿児島大学歯学部長挨拶		植村 正憲 学部長
13:10 今、話題の感染症と消毒殺菌のテクニック	口腔微生物学分野	小松澤 均 教授
14:00 口腔の生体防御メカニズム	口腔生化学分野	松口 徹也 教授
14:50 口腔感染症と全身の健康	予防歯科学分野	於保 孝彦 教授
15:40 口腔領域のウイルス感染症の診断と治療	顎顔面疾患制御学分野	杉原 一正 教授
16:30 口腔ケア - 践への課題と義歯清掃 -	口腔顎顔面補綴学分野	西 恭宏 准教授
17:20 ICT 推進のための大学ー歯科医師会の連携	口腔顎顔面外科学分野	中村 典史 教授
	鹿児島県歯科医師会	曾山 幸一 副会長
17:50 総合討論とまとめ		
18:00 閉校式		
閉会の辞		長岡 英一 教授

本年度の鹿児島県歯科医師会館 5階大ホールにて、100名以上の歯科医師、歯科衛生士、介護士、ならびに一般市民の参加を得て、成功裏に開催されました。



どんなに医療が進んだ時代においても、新たな病原体との戦いは永久に終熄するものではありません。そのような中で、口腔は人体において細菌やウイルスなどの病原体に最初に曝される最も主要な門戸であり、感染症成立のメカニズムの解明や感染予防体制の確立は歯科・口腔領域の医療に携わるものにとって急務となっています。

また、高齢化社会が進む中で、国民の多数を高齢者が占める時代が到来することを鑑み、将来的な歯科疾患構造が変化することを意識せざるを得ない時代となりました。そこで、平成21年度、鹿児島大学歯学部では、口腔由来の感染症成立とその制御に関するエキスパートを養成するために基礎講座と臨床講座が連携した「研究・教育プロジェクト」を立ち上げました。

今回は、社会に対して鹿児島大学歯学部の取り組みを紹介するとともに、今後、鹿児島大学歯学部と地域歯科医療者が国民の健康維持の為に協力する連携活動について共に考える機会となるよう、この企画を行いました。

講演の内容は、まず、基礎系の講演者による、新興・再興感染症として社会的な問題としてマスコミ等でも多く取り上げられているインフルエンザウイルスや結核菌などの呼吸器感染症の特徴、人体における免疫の基本的な考え方、免疫応答の種類、免疫を担当する細胞群などについての分かりやすい紹介がありました。次に、近年、細菌の検出などの研究技術が飛躍的に進歩したおかげで歯周疾患が全身の健康に与える影響について米国を中心に大々的な疫学調査が行われ、歯周疾患と心臓脈管系疾患、低体重児出産、糖尿病との関係、肥満、高血糖、高血圧、高脂血症というメタボリックシンドロームの症状と口腔疾患との関連に付いて紹介がありました。

さらに、臨床系の講演者によって、口腔領域の多様な粘膜疾患の臨床像とその治療や予防についての基礎知識の話がなされた後、最近、我が国において高齢者の誤嚥性肺炎による死亡率が増加し、死因の第4位になったことから、口腔細菌による誤嚥性肺炎の誘発の原因とその予防のための口腔ケアについて、口腔衛生管理という側面から口腔ケアの実践をどのように行っていくべきかが、歯科医療関係者の臨床に取り入れ易い形で紹介されました。最後には、鹿児島大学歯学部と、鹿児島県歯科医師会が、共に連携して「高齢者が多くを占める鹿児島県民が自立して豊かな人生を送れる環境作り」を合い言葉にインフェクションコントロール推進のための連携プロジェクトを推進していく必要があることが述べられ、多くの参加者の同意を得られたようでした。この公開講座を元に、地域の歯科感染予防の意識が少しでも向上し、鹿児島大学歯学部の社会貢献が広がる機会になれば幸いです。

